

市議会だより 第140号



広報紙等の点訳を行う「たんぽぽの会」と、音訳を行う「かたつむりの会」

もくじ

- 第1回定例会で審議した議案とその結果など … P 2～P 3
- 市政に反映、皆さんの声（一般質問） … P 4～P 14
- 各委員会の議案等の審査結果、議会のうごきなど … P 15～P 17
- インタビュー、編集後記 … P 18



令和4年第1回(3月)定例会

3/1~3/25 25日間

本定例会では、条例制定や一部改正及び令和3年度の各会計の補正予算、また、令和4年度一般会計予算や特別会計予算などの審議を行い、次のとおり決定しました。

■本定例会で審議された議案とその結果

議案番号	件名	議決結果
議案第1号	日田市手話言語条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第2号	ガランドヤ古墳公園の設置及び管理に関する条例の制定について	//
議案第3号	日田市個人情報保護条例の一部改正について	//
議案第4号	日田市交流・コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	//
議案第5号	日田市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	//
議案第6号	日田市獣肉処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	//
議案第7号	日田市日田駅前広場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	//
議案第8号	日田市消防団条例の一部改正について	//
議案第9号	日田市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	//
議案第10号	日田市大山文化センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	//
議案第11号	日田市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	//
議案第12号	日田市公共下水道及び都市下水路の構造の技術上の基準等に関する条例の一部改正について	//
議案第13号	日田市交流・コミュニティセンターの指定管理者の指定の変更について	//
議案第14号	日田市交流・コミュニティセンターの指定管理者の指定について	//
議案第15号	日田市大山文化センターの指定管理者の指定の変更について	//
議案第16号	市道路線の廃止について	//
議案第17号	市道路線の認定について	//
議案第18号	専決処分(令和3年度日田市一般会計補正予算(第10号))の承認について	原案承認(全会一致)
議案第19号	令和3年度日田市一般会計補正予算(第11号)	原案可決(全会一致)
議案第20号	令和3年度日田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	//
議案第21号	令和3年度日田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	//
議案第22号	令和3年度日田市介護保険特別会計補正予算(第1号)	//
議案第23号	令和3年度日田市給水施設事業特別会計補正予算(第1号)	//
議案第24号	令和3年度日田市情報センター事業特別会計補正予算(第1号)	//
議案第25号	令和3年度日田市水道事業会計補正予算(第2号)	//
議案第26号	令和3年度日田市下水道事業会計補正予算(第1号)	//
議案第27号	令和4年度日田市一般会計予算	原案可決(多数)
議案第28号	令和4年度日田市国民健康保険特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第29号	令和4年度日田市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決(多数)
議案第30号	令和4年度日田市介護保険特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第31号	令和4年度日田市診療所事業特別会計予算	//
議案第32号	令和4年度日田市給水施設事業特別会計予算	//
議案第33号	令和4年度日田市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	//
議案第34号	令和4年度日田市水道事業会計予算	//
議案第35号	令和4年度日田市下水道事業会計予算	//
議案第36号	日田市一般職員の給与に関する条例等の一部改正について	//
議案第37号	日田市特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正について	//
議案第38号	日田市、日田玖珠広域消防組合公平委員会委員の選任について	原案同意(全会一致)
議案第39号	人権擁護委員の推薦について	//
議員提出議案第1号	日田市議会議員の議員報酬並びに費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	原案可決(全会一致)
議員提出議案第2号	議会閉会中の各委員会における所管事務調査に関する件について	//
決議案第1号	ロシアによるウクライナ侵略に抗議する決議	//



市政に反映 皆さんの声



令和4年第1回定例会では、3月7、8、9日の3日間にわたり、5会派の代表質問及び一般質問が行われ、20人の議員が諸問題について質問しました。それぞれの質問の中から、その要旨をお知らせします。

【代表質問】

放課後児童クラブ ICTによる効率化



市政クラブ
梅原 竜也 議員

質問 厳しい財政の中で予算編成を実施したと思うが、新規の41事業の中で、市長が重点事項と考えるものについて伺う。

市長 どれも必要な事業と考えている。コロナによる影響があり、その中で行動変容、事業変容が垣間見えている。

これらを解消しながら、対応体制を作っていくことと、世界的なマクロ経済が大きく変動する様子を、非常に緊張感を持って見ている状況である。

質問 放課後児童クラブの保護者や支援員の負担軽減を図るため、新たにICT化を推進することについて伺う。

部長 クラブ内にインターネット環境を整え、整備後は速やかな情報伝達ができるよう、ツ

ルによる児童クラブへの一斉情報送信、オンライン研修、会計システム導入による会計事務、労務管理など共通の業務の効率化が進むと考えている。

質問 この他、経済対策における商品券発行について、カーボンニュートラルについて、新型コロナウイルス感染症対策について質問した。



議会をご覧になりませんか

市議会は、公開を原則としていますので、どなたでも傍聴することができます。車いす（3台分）での傍聴もできます。

皆さんのお越しをお待ちしています。





【代表質問】

濃厚接触者への
支援を求める！



新世ひた
居川 太城 議員

質問 コロナ禍の対応として経済活動の自粛明けから市内の活性化と日田市の企業を守るため、一刻も早い経済対策が求められるが、新年度はどのような経済対策事業を行うのか。

市長 観光業の支援として、日田式GOTOトラベルキャンペーンや日田の魅力を伝える動画の配信、また進撃の巨人を活用した誘客の取組などを行い、国や県の取組と連携する。事業継続支援として、ビジネスサポートセンターでの経営相談に加え、専門的な知識を持った人材を活用して、経営課題の解消を図る事業所を支援する。

質問 コロナ陽性者には国・県から支援があるが、濃厚接触者については支援が行き届いてい

るとは言えない状況である。特に家族感染が多く、やむを得ず有給休暇等を取得しながら対応している世帯への支援は考えられないのか。

部長 従業員が体調不良を訴えた場合や子供の世話、家族の介護などで必要な場合については休暇の促進、休暇の取得、就業上の配慮をお願いした。それ以外の支援というのは厳しいと考える。

※厚生労働省の資料より

濃厚接触者の待機日数の見直し	一般	エッセンシャルワーカー
	10日間	検査陰性で最短6日目解除
	↓	↓
	7日間	検査2回とも陰性で最短5日目解除

【代表質問】

日田市手話言語条例
について



市民クラブ
中島 章二 議員

質問 手話への理解の促進及び普及に関する施策について伺う。

部長 広報ひたにおいて、簡単な手話の紹介や、動画で見ることのできる二次元コードの掲載などを行い、手話を身近に普及できる環境づくりに努める。

質問 手話による円滑な意思疎通の支援について伺う。

部長 条例を制定する中で、ろう者やその家族と日常生活の困りごとなどの意見交換会を行ってきたが、条例制定後も引続き協議する場を設け、より良い支援となるよう取り組んでいく。

質問 総合的な子ども支援拠点の機能と役割について伺う。

市長 機能面としては福祉と教育が一体となって子供の成長を支え、子育てや家庭環境、いじ

め・不登校に関する相談など、あらゆる相談に応じることができる総合窓口を中心に相談しやすい環境を整える。

質問 総合的な子ども支援拠点の教育支援機能について伺う。

市長 学齢期における相談に対する学校側からの支援は、現在、教育センターが担っているが、これを機能として、どのように取り込むことができるのかという点について、ハード・ソフトの両面から検討を重ねている。





【代表質問】

新清掃センター建設の
取組と運営の考えについて



日本共産党
大谷 敏彰 議員

質問 日田市新清掃センターの建設に伴うパブリックコメントや運営方式などについて問う。

部長 意見提出は8件で、主な内容は環境基準に配慮した施設整備、アクセスルート、火災等のトラブル発生時の対応等に関する内容で内容を精査している。事業方式は施設整備と運営の一体性、運営期間中の所有権が市にあること、実施事業例数が多いことなどすべての条件を満たすDBO方式を検討している。

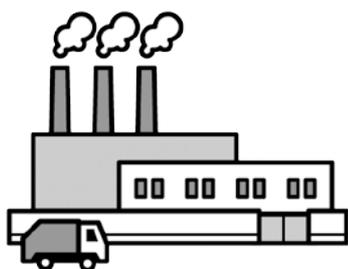
質問 高校生までの医療費の無料化と国保税の子供の均等割軽減の拡大について問う。

部長 医療費の無料化には国庫負担の減額調整があることや、18歳までの子供を対象にした特別給付金などもあり、現行の中

学生までとしたい。現行の中学生を高校生までとした均等割軽減の拡大は、国保運営協議会で必要性について議論したい。

質問 花月川河川改修に伴う内水氾濫対策の取組について問う。

部長 浸水シミュレーションによる浸水箇所の土地利用や排水路等の状況に応じて、調整池や排水ポンプなど効果的で効率的な対策案を検討している段階で、まだ案を示すことは出来ない。



【代表質問】

デジタル化推進計画の
策定は？



公明党
坂本 茂 議員

質問 デジタル化における市の推進計画の策定について問う。

部長 自治体DX推進計画やデジタル田園都市国家構想などを踏まえながら、新たな情報化推進計画の策定を進めている。

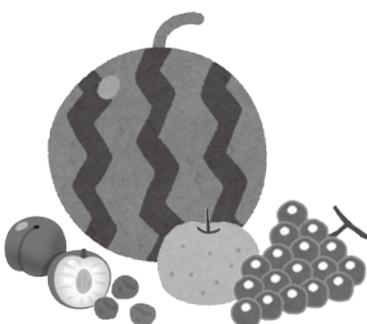
質問 高齢者や障がい者に向けたデジタル化の対応を問う。

部長 日常的なサポート体制として、身近な相談窓口の検討も進めていき、支援していきたい。

質問 経営課題の解消を図る企業への支援について問う。

部長 様々な課題を解決できる経験や知見を持った方を、副業・兼業の形態で活用する中小企業者に対し、一部を助成する。

質問 スマート農業の導入による機械化・省力化技術の普及に対する具体的な取組内容を問う。



部長 令和4年度は、市が選定する主要農産物である梨、すいか、ぶどう、梅、すももについて、スマート農業機材などの導入に対して支援を行っていく。

質問 農業を学びのテーマとした取組内容について問う。

部長 市内の高校生が農業を通して、現場で農業者から直接指導を受け、体験を通しながら、商品開発を学ぶアグリスクールの取組を行っている。



【一般質問】

情報伝達を短時間で効果的、効率的に行うシステムの整備を急げ!!



無所属 中野 哲朗 議員

質問 新型コロナウイルス感染症第6波の一連の対応から見えてきた教育現場の課題をどのように捉えているか。

教育次長 臨時休業等が長期に及ぶ場合の家庭学習の充実及び児童生徒の安全・安心の確保を課題として捉えている。

質問 学校の休校等が決定したら、その情報を保護者に伝達するという作業が発生する。どのような手段を用いたのか。

教育次長 保護者への個別の電話や学級連絡網、地区連絡網を活用しながらお知らせした。

質問 以前、日田市連合育友会が既読確認のできるメールシステムへの変更を要望したが、市教委は「変更の予定はない」と回答している。理由は何か。

教育次長 登録者数が七千件を

超え、個人情報管理が非常に困難であったことから、変更の予定はないと回答した。

質問 自然災害等が相次ぎ、効率的な情報伝達を必要とするケースが増えているのに、市教委の認識は非常に甘い。その後、どのような検討をしたのか。

教育次長 状況がこれまでと大きく変わっていると認識している。秘匿性の高い情報の配信や既読機能に対応するシステムへの改修計画を進めており、本年6月には移行する。



【一般質問】

JR日田彦山線 線路跡地等の有効活用で地域の活性化



市民クラブ 梶原 信幸 議員

質問 線路跡地や駅舎周りの土地の譲渡や貸与の条件をJR九州と協議しているのか。

部長 JR九州は、活用方法に応じて有償による譲渡や貸与もしくは無償による貸与を考えている。

質問 トロッコやレールバイクを走らせる計画はあるのか。

部長 関係機関と協議した経緯はあるが、安全対策等で多くの指摘があった。継続的な取り組みを地域で進めるのは厳しい。

ただし、地域からBRT運行前の期間限定でイベント的に取り組む声が上がれば検討できると考えている。

質問 沿線地域の新たな観光や地域振興、今後の展望について、市長の見解を伺う。

市長 沿線地域は、耶馬日田英彦山国定公園ということで自然を大切に育てており、そこに大きな魅力のある場所だと考えている。アンケート結果を踏まえ、できること、やりたいことを含めて市が支援できることを考えていく。

質問 この他、子供の国民健康保険税の軽減策等について質問した。



今山駅の線路



【一般質問】

天ヶ瀬温泉街
復興まちづくり
地域が一体となる取組を



市政クラブ
安達 明成 議員

質問 玖珠川の河川災害の復旧状況と取組予定について伺う。

部長 16か所の復旧工事17億円湯の釣・山の釣の改良工事25億円は令和4年度中の完了見込み。天ヶ瀬温泉街の河川改修は、令和4年度から10年間で70億円の事業に取り組んでいく。

天ヶ瀬温泉街の復旧・復興

質問 県の改修計画と地域住民の天ヶ瀬温泉街将来ビジョンが出そろった。市の取組を伺う。

部長 地域復興ビジョン、県の河川改修計画を踏まえ、令和4年度に国の補助制度を活用し、「天ヶ瀬温泉街復興まちづくり計画」を策定する。

質問 復旧・復興は、関係者が一体となり取り組んでいく必要があるが、市長の考え方を伺う。

市長 県と市、地元で、ウエブ会議等を含め継続的に協議している。今後、具体的な形になっていくと認識している。

質問 J R天ヶ瀬駅の無人化は容認できない。どう取り組むか。

市長 利用者の安全、安心はJRが責任を担保することで、観光協会に委託することとなった。天の国プラザも天ヶ瀬温泉の中核的施設であり、ハブとしての機能を、今後の天ヶ瀬復旧・復興計画の中で考えていく。



【一般質問】

転作単価切り下げ
コメづくり困難



日本共産党
日隈 知重 議員

質問 転作補助の水田活用直接支払交付金の補助単価切り下げの影響をつかんでいるか。

部長 飼料用米などの複数年契約が、令和4年度から加算措置がなくなる。日田市の影響額は約39万円の減額。多年生牧草の作付けは、3万5千円が交付されていた。今後は種まきから収穫まで行う年は同じ交付額だが収穫のみを行う年は1万円しか交付されない。その影響額は約65万円の減額。今後5年間で一度も水張りが行われない水田は交付金の対象にならない。

質問 今後5年間で一度も水張りしない田んぼは交付金をもらえない。その影響をつかんでいないということか。

部長 あくまでも仮定の話しに

なるが、件数で255件、約3千万円の減額となる。

質問 経営規模の大きい農家の影響額をつかんでいるか。

部長 数字としては、先ほど説明したとおり。

質問 実情をつかみ、国に対策を求めるべきではないか。

部長 全国市長会を通じて、国に要望している。



大型コンバインで刈り取るコメ農家



【一般質問】

住民自治組織の設立に向けた取組の現状



新世ひた 飯田 茂男 議員

質問 住民自治組織について、

過疎地域持続化発展計画には、令和7年度に振興局管内の全5団体とする目標があるが、組織設立に向けた取組の現状をどのように把握しているか。

部長 大山地区は3つの部会を設置し、設立後の具体的な活動内容の協議や住民向けの説明資料作成等の準備をしてきた。前津江では、上・中津江の設立時の取組を参考に予定。天瀬地区は、振興協議会で取り組む方針だが、温泉街の災害とコロナの影響により役員会で協議を進めている。しかし、住民自治組織の必要性について地区ごとの認識が異なっていることから、設立に向けた具体的な協議には至っていない。

質問 その進捗状況をどのように受け止めているか。

部長 設立までの過程では、地域の課題の捉え方や組織の在り方、担い手などの課題に対する住民の議論が必要となる。合意形成が重要と考えており、時間を要するものと認識している。

質問 この他、天瀬農業公園の現状と課題について質問した。



【一般質問】

獣肉処理施設の休止は回避できなかったのか



公明党 松野 勝美 議員

質問 日田市獣肉処理施設での

これまでの販売実績と、この施設の役割、必要性についての考え方を伺う。

部長 販売実績は平成24年度に150万円だったものが、令和元年度には約890万円を売り上げるまでになった。令和2年度はコロナ禍での販売となったため、870万円とやや落ちたものの、開設当初と比較すると売上は大きく伸びている。また、獣肉処理施設は安全・安心を保証する国産ジビエ認証を取得し、日田産ジビエ肉の特産品化を図る上でも必要な施設である。

質問 休止という形でない対応はできなかったのかと思うが、施設の休止による影響はどのよ

うなものがあるか。

部長 日田ジビエとしての獣肉販売ができなくなることが大きな影響である。

質問 1日も早い再開を望むが、今後の見通しを伺う。

部長 新たな指定管理者が決まった段階で、議会へ提案していくことになる。早い時期にやればと考えている。

質問 この他、認知症対策などについて質問した。





質問 大分県放課後児童クラブ運営主体研究会がまとめた調査結果と、日田市のアンケート調査結果について伺う。

部長 県の実態調査では、課題として約8割のクラブが支援員の確保に課題を抱えている。支援員の給与計算、各種保険加入手続きなどの労務管理の事務について不安を感じている。日田市の調査でも、県と同様に支援員などの確保や労務管理に不安を抱いていることが報告された。

質問 支援員の負担軽減を図るための方策として、市政執行方針にもある新たなICTの推進、クラブ運営の業務をサポートする支援員の配置や巡回アドバイザーを派遣することなどがあるが具体的な内容を伺う。

【一般質問】

放課後児童クラブを運営する運営委員会への支援策の充実を！



市民クラブ 井上正一郎 議員

部長 ICT化の推進については、市の予算にて、各クラブのインターネット環境の整備を行ったり、巡回支援アドバイザーについては、社会保険労務士に委託し、各クラブに向いて支援員の労務管理事務を支援する。

質問 この他、大山文化センター大規模改修事業、水郷テレビの公設民営化について質問した。



令和4年7月開館予定の大山文化センター

ホームページのご案内

<https://www.city.hita.oita.jp/shigikai/index.html>

日田市議会では、ホームページを開設しています。このホームページでは、市議会の結果などを掲載するほか、過去の会議録も検索できます。

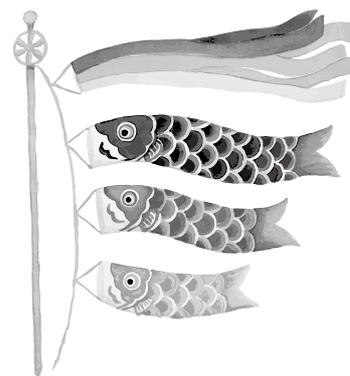
また、市立淡窓図書館、各振興センター、振興局、地区公民館には、会議録を備えています。

3月定例会の会議録は、6月上旬から閲覧することができます。



本会議のテレビ中継

一般質問はKCVコミュニケーションズで生中継し、後日、録画放映も行っていますので、是非ご視聴ください。なお、閉会日についても後日録画放映を行っています。





【一般質問】

日田もリビジョンの
取組について



市政クラブ
宮崎 陽治 議員

質問 森林所有者の高齢化や世代交代が進み、形態は違うが森林の空屋化が危惧されるがどう考えているか。

部長 森林についても高齢化や相続で管理ができないという問題はあります。令和6年度以降、森林の所有権移転登記が義務づけられることから森林経営管理制度に基づき調査していきたい。
質問 森林所有者に対する意向調査の完了見込みについてどう考えているか。

部長 10年程度で一旦終了し、必要に応じて個別対応したい。

質問 伐採後の再造林については把握しているか。

部長 令和2年度は主伐面積230ヘクタールに対し220ヘクタールの再造林が行われた。



再造林の状況

質問 福岡県では、自伐林家の育成に取り組んでいる。地域活性化や市外に目を向ければ、域外からの人の流れもできる。移住定住の促進の観点からも日田市独自に「小さく稼ぐ林業」の経営モデルを検討できないか。
市長 考え方としては非常に魅力的だと思うが、日田市においては現状の森林環境や管理方法から導入は難しいのではないかと考えている。

【一般質問】

文化・芸術の振興、
生理の貧困、市民理解への
対策は？



無所属
高倉 貴子 議員

質問 文化・芸術の振興は旧郡部も含めた市民交流の促進が必要。平成24年制定の劇場法施行後、公共ホールは市民同士が出会える新しい広場へ、それは啓発できているのか。

教育次長 市の文化行政担当者はコロナ禍で、専門性を高める研修に参加できていない。

質問 指定管理者の事業評価はどうか。大山文化センターの直営の理由も再度問う。

教育次長 月次報告や実地調査、自己評価の分析から指導や助言をしてきた。大山文化センターは文化・芸術の興行以上に研修・会議に供するため直営で始めたい。

質問 日田市における生理の貧困の実態把握と対策は。

教育次長 昨年から市内小中学校の養護教諭アンケートを通し、個別対応を開始している。

質問 全児童生徒の声も拾い上げてほしい。

教育次長 生理の貧困の中に隠れている家庭状況等、問題の本質を捉え必要な体制づくりを努めたい。

質問 文化活動の展開も生理の貧困の克服も市民の主体的な取組をご支援いただきたい。



中津江ホール春の祭典



【一般質問】

林業・木材産業振興の
取組について



市政クラブ
原田 裕文 議員

質問 市民の財産である市有林において、ウッドショックの影響下では、歳入に影響する伐採等がどの様な計画で進められたか伺う。

部長 原木の取引量及び価格動向を把握し、関係機関と意見交換や情報共有し、伐採等の早期発注に努めた結果、ウッドショック禍で売上に繋がっている。

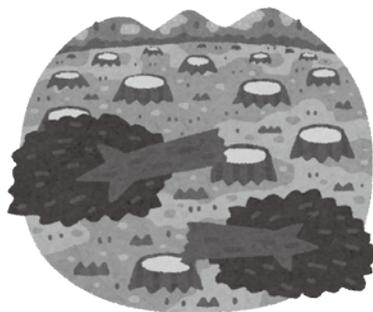
質問 しいたけ生産者へ、直接生産増加に繋がる種駒助成について日田市の取組と現状を伺う。

部長 過去に三年間、しいたけ販売価格の下落で種駒助成を行ったが、現在は安定価格のため、種駒助成は廃止している。

質問 大分市や別府市を含む11市町で単独の種駒助成を行っている状況や、生産者組合の危機

意識の中で、市として種駒助成の計画はないのか伺う。

市長 何にでも補助を出すことは楽な話だが、メリハリのついた農業政策の中で判断する。



質問 生産者の声を聴き、団体が何を補助してほしいかを十分に把握して検討されたい。

この他、人・農地プランの実質化の進捗状況について質問した。

質問 コロナ禍の影響が大きい業界に対する商品券発行以外の具体的支援策はあるのか。

部長 短期的には地域内消費を呼び戻す消費喚起策を段階的に行うことが重要と考えている。

質問 中小企業振興推進会議の審議内容を見直し、定期に提言を受け施策へ反映すべきでは。

市長 問題解決へ其々に取り組む必要があり、提言、意見に向き合うよう原課にも指示したい。

質問 起業や業種転換、後継者対策として補助制度による支援策を設けてはどうか。

【一般質問】

今後の経済対策について



市政クラブ
佐藤 功 議員

いたため改善が必要ではないか。

市長 公益認定された意味は何かセンターの在り方の論点にもなる。コロナ禍、決算期と良い機会であり考えていきたい。

質問 ビジネスサポートセンターと産業振興センターの役割を整理・統合してはどうか。

市長 産業振興センターの在り方が大きな課題と捉え、しっかりと議論して結論を出したい。

質問 本市の社会・経済においてデジタル化をどう進めるのか将来の都市像を示してはどうか。

市長 インフラ環境をどう活用するかは事業者個人の能力であり、市として情報提供は行う。

質問 産業振興センターは公益事業にほとんど取り組んでいない





【一般質問】

声を上げれない困った人を
どう支援に繋ぐか



市政クラブ
財津 幹雄 議員

質問 生まれる子供、生まれた子供を社会全体で育む観点から、福祉部や、学校では子供の現状をどう認識しているか。

教育次長 学校からの報告やスクールソーシャルワーカーからの相談で虐待や貧困に近い子供がいると認識している。

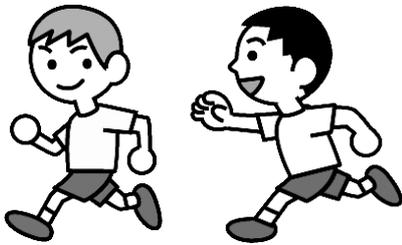
部長 母子手帳交付時に面談し、子育ての情報提供アドバイスを行ない、必要な人には支援プランを策定、妊婦検診経費を公費で賄い、たまご学級の開催や赤ちゃん訪問等、妊娠から出産育児まで寄り添った支援をしている。

質問 子供にしても妊産婦にしても誰かに相談する人、出来る人は何らかの支援が受けられるが、誰にも相談できず社会に埋

もれた人がいる。そんな子供や妊産婦を見つげ出すことも行政の責任ではないか。

部長 困っている人が相談に来れば支援につながるが、目の届かないところもある。今計画中の総合的子ども支援拠点につながっていくと考えている。

市長 子ども支援拠点が信頼できる施設となれば埋もれた要支援者が相談に来られると思う。



守り育てよう子供達

【一般質問】

農業の現状と今後の施策



市民クラブ
溝口 千壽 議員

質問 2020年の農業センサスで農業従事者数の減少と高齢化が大きく報じられている。日田市の状況を伺う。

部長 本市の農業経営体は5年間で27%減少している。また高齢化も進み、65歳以上が約7割となっており、また70代の割合が高い。

質問 農業での労働力支援の状況について伺う。

部長 農業の繁忙期には親戚や近隣の方に助けてもらい地域の農業が営まれてきたが、高齢化などで労働力の確保が難しくなってきた。大分県では、全農や協力会社で労働力支援事業が平成27年度から始まった。日田市でも30年から始まったが現在では作業賃金などの関係で撤退し

ている。

質問 JA出資型農業法人は今回のビジョンの見直しでこの項が無くなっている。理由を伺う。

部長 目的を確認し二つの農業協同組合と協議を重ねてきた。しかし、経営規模や組織運営の違いで合意形成に至らなかったが、重点施策を担い手サポートとして改め承認を頂いた。





【一般質問】

原田市長市政運営について



市政クラブ 岩見 泉哉 議員

質問 ここ10年で色々な災害があり、災害市長と言われるほどであった。地震に台風、水害と立て続けのごとくあり、今もなお災害の復旧は続いている。早期の復旧を望むが。

市長 まずは市民の安全・安心を最優先に、早め早めの情報の発令に努めてきたところである。質問 12月議会で天ヶ瀬温泉街から移転する方々に市の土地を提供出来ないかとの質問に市長は、前向きに検討することであったが、何か進展があるのか。

市長 市の土地がどれほど有効に利用できるかが課題である。質問 具体的に例えば市営住宅を造るなどの考えはないか。市長 それは今後住民の個別の

調査の中で判断していきたい。

質問 天ヶ瀬温泉街に住む方々が温泉街を離れていかないように万全の策をとってもらいたい。

質問 コロナが収束した時に、真先に何らかの仕掛けをする事が日田市を救う道ではないか。

部長 県と連携した地域消費喚起と観光関連消費喚起を図り今後も関係機関と連携して取り組みが必要な施策を講じていく。



天ヶ瀬温泉街

【一般質問】

新型コロナウイルス感染症を踏まえた人口減少対策について



新世ひた 三苫 誠 議員

質問 日田市の人口動態の現状について聞く。

部長 感染症拡大後に急激な人口の減少傾向は示しておらず、感染拡大が人口減に影響を与えているのは、現段階で特定できないと考えるが、依然人口減少は進んでいる。

質問 感染症を踏まえた今後の人口減少対策を聞く。

部長 雇用の定着、子育て支援、まちづくり活動支援に加え、移住・定住促進等地方への人の流れも活用する。

質問 2060年5万人の人口維持を目標にした人口ビジョンと実人口の推移には大きな開きが出ている。見解を伺う。

市長 大きな開きが出ているが、克服できない数字とは思っ

ていない。目標を達成すべく今後の政策に取り組んでいきたい。

森林整備の担い手育成確保対策 質問 担い手の育成確保の具体的な対策を聞く。

部長 安全対策が最重要であり防護服、空調服、無線機等作業用品に加えて、社会保険や退職共済への加入促進等の雇用安定化対策にも取り組んでいる。





報告

各委員会の
議案等の審査結果

● 総務環境委員会 ●

令和4年度予算、前年比2.1%減の
373億1781万3千円

● 天ヶ瀬温泉街復興プロジェクト事業（530万円） ●

この事業は、地域で策定した天ヶ瀬温泉復興ビジョンに描いた街の将来像を実現するため「天ヶ瀬温泉つなぐ会議」のまちづくり活動費に対し補助するもので、大分県より同規模の補助を受け全体で1031万円の規模で事業に取り組みものです。事業の実施に際しては、地域住民への丁寧な説明や多様な意見を反映することで合意形成を図り、地域が一体となった体制を築くよう強く要望しました。

● 焼却施設等更新事業

（1億2530万4千円）

この事業は、清掃センターの

施設更新へ向けた用地整備関係業務などの委託のほか、施設の整備・運営に係る事業者選定に向けた準備を行うため、造成基本設計業務や水質調査業務、事業者選定支援業務、生活環境影響調査業務等の委託を主な内容とするものです。

これらの取り組みに際しては、地方自治体の基本的な取組姿勢である「最小の経費で最大の効果を得る」ことを念頭に、市民の安全・安心の確保と、公平で公正な事業の推進に努めるとともに、事業の進捗状況について、適時、関係地域住民をはじめ、広く市民への情報提供に努めるよう強く要望しました。



天ヶ瀬温泉街復興ビジョンの表紙

● 教育福祉委員会 ●

手話は言語！誰もが地域で安心して暮らすことのできる社会の実現へ！

● 日田市手話言語条例の制定

「手話」が言語であるとの認識に基づき、手話の普及等に関する基本的な事項を定め、手話を通じてすべての市民が相互に人格及び個性を尊重し、地域で安心して暮らすことのできる社会の実現を図るため、所要の事項を定めるものです。

本条例の施行にあたっては、理念だけに終わることなく、当事者や関係団体と協働して各種施策を推進し、「手話」が言語として市民に深く浸透するよう要望しました。

● 総合的な子ども支援拠点創設事業及び周辺事業

子育てに関する悩みや児童虐待など、様々な課題の解消と子育て環境を充実させるため、拠点を創設するものです。拠点創

設にあたっては、市政執行方針に掲げているように、福祉と教育が一体となって子供の成長を支えるため、拠点に求められる機能について、創設検討委員会で十分な議論を行うよう強く要望しました。

● ガランドヤ古墳公園の設置及び管理に関する条例の制定

国指定史跡のガランドヤ古墳の保存、管理及び公開活用並びに歴史とふれあう市民の憩いの場としてガランドヤ古墳公園を設置するもので、施行日の令和4年3月27日にオープンイベントが開かれました。古墳内でも期間限定で見学会を計画していくとのことです。



全日本ろうあ連盟手話マーク



●産業建設委員会●

天ヶ瀬温泉街をはじめ、被災地域の早期復旧を！

●都市防災総合推進事業

(新規2745万円)

被災した天ヶ瀬温泉街を対象とし、災害に強いまちへの再生、地域活力の早期復興のため「天ヶ瀬温泉街復興まちづくり計画」を策定し、その後の施設等の整備までを支援するものです。

この計画は、地元住民により策定された天ヶ瀬温泉街復興ビジョンや市の復興方針、関係法令等との連携、整合を図った上で策定され、被災地の復旧・復興にとって重要なものとなることから、地域住民への情報提供、共有を積極的に行い、地域の意向が適切に反映された計画となるよう強く要望しました。

また、その他の災害復旧事業についても早期復旧に努めるよう、合わせて要望しました。

●日田市獣肉処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

日田市獣肉処理施設は、有害鳥獣として捕獲されたイノシシやシカを処理し、地域資源としての有効活用に取り組んでいる施設です。本改正は、現在の指定管理者から、令和4年度以降の管理ができない旨の申出を受け、市の直営でも対応できるようにするためのものですが、運営には専門的な技術等が必要なため休止せざるを得ない状況です。「ひたジビエ」による地域活性化や、有害鳥獣捕獲数への影響も懸念されることから、早急に新たな指定管理者を選定し、施設の再開へ繋げるよう要望しました。



日田市獣肉処理施設

ロシアによるウクライナ侵略に抗議する決議

2月24日、ロシアは、国際社会の度重なる警告を無視し、ウクライナへの軍事侵略を開始し、一般市民を含め多数の犠牲者を出し続けている。

このような軍事力による一方的な侵略行為は、武力の行使を禁ずる国連憲章と国際法に違反し、国際社会の平和と安全を脅かす行為であり、断じて容認できない暴挙である。

日田市は「非核平和宣言都市」であるとともに、東京2020オリンピック事前キャンプ地として、フェンシングのウクライナ代表選手団を受入れており、今回の軍事侵略が遠方の海外での出来事ではなく、我々の都市とも密接な関係にある。

よって、日田市議会は、ロシアによるウクライナへの侵略や主権侵害に対し強く抗議するとともに、ロシアに対し、武力行使の即時停止とウクライナからの完全撤退を強く求めるものである。

以上、決議する。

令和4年3月7日

日田市議会

上記決議に際し、ウクライナへの人道支援のため、次のとおり、支援金を送りました。

金額：20万円（議員積立金より） 目的：ウクライナへの人道支援
送金先：在日ウクライナ大使館 送金日：令和4年3月28日（月）



第2回(6月)定例会の予定

※日程は変更になる場合があります。

6月 7日(火)	}	本会議(議案説明)
14日(火)		本会議(一般質問)
16日(木)	}	本会議(議案質疑)
20日(月)		委員会(議案審査)
21日(火)	}	本会議(討論・採決)
23日(木)		
27日(月)		

意しました。
 次の方々を推薦することに同意しました。

井手 敦美 氏(大山町)
 佐藤香代子 氏(天瀬町)

人権擁護委員の推薦

次の方を選任することに同意しました。

小野 尚美 氏(淡窓2)

日田市、日田玖珠広域消防組合公平委員会委員の選任



を呼びかけました。

5時過ぎから、市役所前交差点で子供と高齢者の交通事故防止や早めのヘッドライトの点灯等を呼びかけました。

今年も、日田警察署や大分県交通安全協会日田支部にご協力いただき、春の全国交通安全運動期間中の4月7日(木)午後

春の全国交通安全運動 — 議員が街頭活動 —

日田市議会では、毎年春と秋の全国交通安全運動期間中に街頭活動を行っています。

公職選挙法(寄附行為)に関するQ&A

虚礼廃止にご理解とご協力を!

- Q** 自治会や老人会等の各種団体の総会に案内を受けた議員が、ご祝儀やお酒を持参して出席することができますか。
- A** ご祝儀やお酒は寄附に当たりますので、罰則をもって禁止されています。
- Q** 地区のお祭等に際し、議員がお酒、ご祝儀を出すことができますか。
- A** 寄附に当たりますので、罰則をもって禁止されています。

この他、議員が、地区運動会などで寸志・ご祝儀やお酒を出すこと、親族以外へ贈るお中元・お歳暮・病見舞い・入学祝いなど、従来から慣行として行われていることであっても、寄附に当たりますので禁止されています。

また、議員に対し、市民がこれらを求めることも違反となります。

意見募集

ひた市議会だよりをご愛読いただき、ありがとうございます。議会だよりをご覧になったご意見・ご感想をお聞かせください。いただきましたご意見等は、皆様からの貴重な声として、参考にさせていただきます。

- FAX
22-8249
- メール
gikai@city.hita.oita.jp





表紙のみなさん

今回は、音訳と点訳のボランティアグループ「かたつむりの会」(代表 新川ヤス子さん)と「たんぽぽの会」(代表 宗宏司さん)の活動内容を紹介します。

「かたつむりの会」活動紹介

音訳ボランティア「かたつむりの会」は、昭和59年から、市内の視覚障がいのある方へ、市報や社協だよりなどの内容をカセットテープに吹込み、声の広報として届けています。

現在、7名で活動しており、録音機器などは、市内の企業から支援していただき、毎月2回、午前中に作業を行っています。障がい者のある方だけでなく、高齢者や文章が読みづらくなっただ方にも、音訳テープを郵送しています。

活動のきっかけは、37年前に一人の視覚障がいのある方の「広報紙を読んでください」という声から、ボランティア活動が始

まりました。

また、令和元年度には、長年にわたるボランティア活動に対して、厚生労働大臣より、感謝状をいただきました。

今後も交流会などで意見交換も行い、最高のチームワークで活動を続けていきます。



録音の様子

「たんぽぽの会」活動紹介

点訳ボランティア「たんぽぽの会」は、平成15年に日田市から委託を受けて「障がい者参加促進事業」として、活動が始まりました。

現在は、十数名で毎月の市報や社協だよりを中心に、点字カレンダーやごみの収集日程表、

選挙時には、立候補者名簿などの情報や資料なども作成してお届けしています。

さらに、視覚障がいのある方からの点訳要望に応じたり、新聞記事から見つけた川柳などの点訳や、小学校での点字勉強会などの活動を通して、様々な情報の提供を行っています。

また、平成25年から取り組んでいる咸宜園関係のパンフレットや書籍の点訳活動が高い評価を受け、咸宜園教育顕彰教育部門で優秀賞をいただきました。お互いに支え合うことにより、生きる勇気と笑顔が与えられ、活動の力となっています。



製本作業

編集後記

ロシアによるウクライナへの侵略は、ますます激化していく中、ウィズコロナの生活も長期化する様相で、新年度を迎えました。

コロナ禍で経済と市民生活が大きな痛手を受け、さらに原油価格や食料品などの物価高騰が続く、様々な分野で幅広い影響が出ています。

さらに、限られた予算の中で、度重なる災害からの復興を目指していく自治体運営も容易ではありません。

益々、市議会の役割が重要となります。

さて、今回の表紙のみなさんは、長きにわたって、障がい者を支えてきた2つのボランティアグループで、使命感に立ち、一人ひとりに、喜びを届けてきた方々です。

(議会報編集委員会委員

坂本 茂)

◎市議会だよりのお尋ねは、市議会事務局(☎028214)へ。市議会だよりは、環境に優しい「植物油インク」を使用しています。

